

# 住友不動産、新宿でスタートアップ交流イベント

2023/10/25 11:13 日本経済新聞電子版 1030文字

住友不動産は24日、スタートアップ企業の事業コンペや事業展示を行う交流イベント「住友不動産ベンチャーサミット」を開いた。スタートアップが事業をプレゼンテーションするピッチコンテストや関係者のトークイベントのほか、商談や展示を行うブースを設けた。スタートアップ関係者やベンチャーキャピタル（VC）、一般企業などの約2000人が参加した。

新宿住友ビル（東京・新宿）の屋内広場で初めて開催した。中央のステージでスタートアップ130社以上から選ばれた15社がピッチコンテストに参加した。購買・調達クラウドサービスを手がけるLeaner Technologies（リーナーテクノロジーズ、東京・品川）が優勝企業に選ばれたほか、準優勝や特別賞など計6社が表彰された。受賞企業には出資交渉権やコンサルティングなどのサービスが提供される。

企業展示ブースに115社が出展したほか、44の商談ブースを設けてスタートアップ各社やVC、一般企業が商談を行った。開会に当たり、日本ベンチャーキャピタル協会の田島聡一会長が登壇し「ベンチャーキャピタルの資金供給力や人材の流動性も高まっており、中長期の成長の伸びしろが極めて大きい」と、スタートアップを取り巻く環境の好調ぶりを語った。

住友不動産は敷金を抑え、オフィス家具や通信環境を備えた、創業初期のスタートアップ向けオフィスブランドを立ち上げた。渋谷など東京都心部3カ所でスタートアップ100社程度が利用している。2024年春までに東京都心部で7カ所、関西圏で2カ所、計9カ所に拡大する。このほか、1月下旬から住友不動産虎ノ門タワー（東京・港）でスタートアップが講演するイベントを定期開催している。

住友不動産は展開する賃貸オフィスの入居企業約1800社のうち、1割程度をスタートアップが占める。自社物件に入居するスタートアップや大手企業の事業拡大を通じて自社の賃貸オフィス事業への相乗効果を見込む。

不動産大手各社によるスタートアップ支援は相次いでいる。森ビルは11月下旬に開業する麻布台ヒルズ（東京・港）に、VC70社の集積拠点を開設する。東急不動産は渋谷駅（東京・渋谷）桜丘口地区で11月完成予定の複合施設に起業家育成エリアを設け、米マサチューセッツ工科大学（MIT）と共同でディープテック（先端技術）分野の新興企業向け育成プログラムを提供する。平和不動産は創業間もないスタートアップ企業の交流拠点を日本橋兜町・茅場町エリアに開設する。

## 【関連記事】

- ・住友不動産がVC支援オフィス、都心で新興圏い込み
- ・ベンチャーキャピタル70社、「麻布台ヒルズ」に集積
- ・平和不動産、シード期企業の交流拠点を兜町・茅場町に



ピッチコンテストで優勝したリーナーテクノロジーズの大平裕介代表取締役CEO（写真中央）



115社が展示ブースに出展した

許諾番号30096032 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.